

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（6月分）

留学先大学：ルーマニア・アメリカ大学

氏名：白越 明

<はじめに>

6月の中旬にレポートの提出などが終わり、長い夏休みが始まりました。Erasmus の交換留学生はみんなテストが終わるとすぐ自分たちの国に帰り、他の学生も実家に帰るので大学も寮もとても静かになりました。この学期一緒に勉強していた日本人の交換留学生3人も、留学期間が終わったのでみんな日本に帰ってしまいました。帰る準備をしているみんなを見ていると私も一緒に日本に帰れるような気になってしまっていたのですが、よく考えると私はまだ7ヶ月以上日本には帰れません。やはりルーマニアという全く日本とは異なる国で、同じ日本人留学生がいるというのはとても大きく、この4ヶ月間心の支えになっていました。しかし同時に、とても彼らに頼ってしまっていた自分もいたので、これからは第二の留学生活が始まると思って、もっと強く、もっとたくましく生きていこうと思います。

<留学前半の振り返り>

夏休みに入ったので、ルーマニアでの最初の4ヶ月間を振り返って、自分を反省したり、褒めてあげたりしたいと思います。

	月	火	水	木	金
10:00 ～ 11:20					EU Competition Policy
11:30 ～ 12:50					EU Competition Policy
13:30 ～ 14:50	Marketing Policies and Strategy		Marketing Policies and Strategy/ Macroeconomics		EU Competition Policy
15:00 ～ 16:20	Marketing Policies and Strategy	Macroeconomics	Macroeconomics		
16:30 ～ 17:50	Marketing Policies and Strategy	Macroeconomics			

上の時間割は、第一モジュール（学期の最初半分）の時間割です。時間割を見ると、結構授業の時間が少なく楽そうに見えますが、授業がすべて英語で、授業時間が長く、同じ授業が3コマ続いたりするのでかなり疲れます。水曜日は、授業が2つ被っている時間があったので交互に出席したりしていました。

この期間は、ルーマニアでの授業や英語に慣れるための期間と自分で決めていました。思っていた以上に、英語でこれらの専門的な内容を勉強することは難しく、また他の Erasmus 留学生との英語力の差もあらわになりました。英語を話すのが怖くなった時期もありました。英語を話して、「え？」という反応をされるのが嫌になり、日本語を話すルーマニアの学生や日本人の他の学生に逃げてしまっていたのです。そのせいで、自分はルーマニアにまで留学に来ていて一体何をしているのかと自己嫌悪に陥ったりしたこともありました。

	月	火	水	木	金
11:30 ~ 12:50	Internal Business Management II				
13:30 ~ 14:50			Internal Business Management II		
15:00 ~ 16:20	Internal Business Management II		Internal Business Management II	Doing Business with Asian Countries	
16:30 ~ 17:50		Private Equity and Venture Capital		Doing Business with Asian Countries	
18:00 ~ 19:20		Private Equity and Venture Capital			
19:30 ~ 20:50		Private Equity and Venture Capital			

これは第2モジュールの時間割です。はじめは1. 2年生の授業を取っていましたが、第2モジュールでは、3年生や大学院の授業を取ることにしました。福井大学には、このような科目の授業はなく、単位交換が難しいことは分かっていたのですが、やはりルーマニアに留学しているのだから、ここでしか受けられない授業を取ろうと思い、単位交換のことはあまり考えずに授業を選ぶことにしました。学年も上がり授業内容もより専門的になり、授業は相変わらず難しかったです。少しずつ他の学生とコミュニケーションが図れるようになりました。そして同時に、急に生活スタイルや使用する言語を日本語から英語にシフトすることは難しいから、徐々にゆっくり新しい環境に慣れていこうとポジティブに考えられるようになっていきました。

日本人とばかりいたり日本語ばかり使っていたら、英語力も上がらないし異文化に触れる機会もぐんと少なくなります。しかし、毎日まわりが英語とルーマニア語ばかりで、環境が180度異なる場所に身を置いていたら（留学前はそれを望んでいました）、自分へのストレスや負担が大きすぎて疲れてしまいます。この2つをいかにバランスよく保つか、これが長期留学をうまく過ごす秘訣だと思います。後半になってようやくこのバランスのとり方が分かってきたような気がします。



RAU に一緒に留学していた日本人の学生達。もうみんな帰国してしまいました。  
4ヶ月間ありがとう！！

<まとめ>

今回は、1学期が終わったということで4ヶ月のまとめをしてみました。かなり堅い内容になってしまいましたが、これが4ヶ月ルーマニアで生活してみて感じた正直な気持ちです。次は夏休みの過ごし方なども紹介していけたらと思います。夏休みは自分のやりたい勉強をする、行きたいところに行く、自分と向き合う時間にしたいです！！

それでは、また来月！！